

名取北高等学校

校訓 人間愛 創造 貢献



1 基本データ

創立：昭和54年
課程・学科：全日制課程・普通科
生徒数：701名
所在地：〒981-1224
名取市増田字柳田103
TEL：022-382-1261
FAX：022-384-8976

ホームページアドレス：
<https://natorikita.myswan.ed.jp/>
電子メールアドレス：
natorikita@od.myswan.ed.jp
主な交通機関：
◆JR名取駅より徒歩15分。
◆仙台空港アクセス鉄道杜せきのした駅より徒歩15分。
◆名取市民バス「なとりん号」名取市役所前下車徒歩3分。

2 学校の特徴

キャッチフレーズ

4つの「たい」があふれる学校

- 生徒が通いたい
- 保護者が通わせたい
- 教職員が働きたい
- 地域住民が参加したい

「人間愛・創造・貢献」の校訓のもと、部活動と勉学の両立を図り、文武両面において「仙南に北高あり」といわれる学校づくりを目指します。輝く未来に向けて、地域とともに新たな校風や伝統を創っていきます。

(1) 学校の概要(沿革、環境、施設等)

本校は昭和54年に創立され、今年で47年目を迎える全日制課程(普通科)の高校です。生徒数は701名(男子343名・女子358名)、全学年6クラス、計18学級です。

名取北高は、古代より歴史に名を残す由緒ある「名取・増田」の地にあり、校舎より泉ヶ岳から蔵王にかけてのたたずまいや遠くは太平洋までも眺望することができる恵まれた環境にあります。JR「名取駅」から徒歩15分、仙台空港アクセス鉄道「杜せきのした駅」から徒歩15分と、通学にも便利です。

施設には、4階建て校舎・体育館・プール・武道場・弓道場の他に、食堂・研修室・和室を備えた「名北館」(冷暖房完備)があり、部活動、学習活動、PTA活動など様々な行事に利用されています。

(2) 教育方針

「人間愛・創造・貢献」を校訓とし、以下の教育目標を掲げています。

- ① 人間を愛し、知性を養い、情操を陶冶して豊かな人格を備えた逞しい人間を育てる。
- ② 創造の精神を尊び、積極的に自己開発に努める人間を育てる。
- ③ 新しい時代・社会における自己の役割を認識し、郷土及び社会に貢献する人間を育てる。

(3) 教育課程の特徴

令和4年度入学生より新教育課程となり、本校の教育課程はこれまで以上に、生徒ひとりひとりが、自らの興味・関心・進路に応じて、主体的に選択履修し、学習を進めていくことを目指すものとなります。科目選択にあたっては、科目選択説明会を行い、進路希望達成のために必要な科目を確認しながら、自分に適した学習プランを設計していきます。

1年次では、基礎・基本を重視し、基礎学力の伸長を図ります。2年次以降の科目選択も視野に入れ、生徒自らが学習プランを設計していくことを目指します。

2年次では、将来の進路を見据えた科目選択を行います。大きく「理系」と「文系」の2つに分かれ、それぞれの科目の目標にそって学習活動を展開していきます。

3年次では、生徒の多様な進路希望にきめ細かく対応するため、さらに多くの選択群を設定し、生徒の主体的選択により、自己実現を図るための学習活動をおこないます。

(4) 行事・生徒会活動・部活動

生徒会行事には、5月の球技大会、生徒総会、6月の総体壮行式、8月の北高祭(文化祭)、10月の体育祭などがあります。今年度から球技大会を2日間で開催することになり、より学校全体の一体感やクラスの仲間との信頼関係を築く場になります。また体育祭は学年の枠をこえたクラス対抗で競われ、総合優勝を目指して一致団結し、大きな盛り上がりを見せています。生徒会が自主的、主体的に活動し、実行委員会と連携をとりながら企画・運営しています。

部活動は、年度当初に必ず全員が登録します。現在設置されている部は、運動部17・文化部10です。どの部においても自主的、意欲的な取り組みがなされています。

近年では、水泳部、野球部、陸上部、弓道部、男子・女子テニス部、女子バスケットボール部、女子バドミントン部など多くの部活動が県大会で上位に入賞しました。

文化部においても、演劇部が宮城県演劇コンクール中央大会優良賞を受賞、吹奏楽部が全日本合唱コンクール宮城県大会金賞を受賞、写真部が宮城県高等学校写真展で学校賞優秀賞を受賞などの輝かしい実績を残しています。

(5) 卒業生の進路状況

進路一覧(過去3年間、進学者・就職者数)

進路	R6	R5	R4
国公立大学	8	6	10
国公立短大	0	1	5
私立大学	141	144	145
私立短大	20	12	24
専各学校	48	58	61
就職	9	6	14
その他	6	4	11
卒業生計	232	231	270

主な進路先(令和7年3月卒業生)、
()内は人数(1)は省略。

<国公立大学>

東北大学、山形大学(3)、宮城大学(2)、群馬県立女子大学、都留文科大学

<国公立短期大学>

なし

<私立大学>

東北学院大学(44)、東北福祉大学(26)、東北工業大学(12)、宮城学院女子大学(10)、東北文化学園大学(10)、尚絅学院大学(9)、仙台青葉学院大学(7)、石巻専修大学(5)、仙台大学(4)、東北医科薬科大学、日本国際学園大学、東北芸術工科大学、福島学院大学、駿河大学、獨協大学、順天堂大学、日本大学、日本体育大学、武蔵野大学、名古屋文理大学、名城大学、ZEN大学、放送大学

<私立短期大学>

仙台青葉学院短期大学(15)、聖和学園短期大学(4)、創価女子短期大学

<専修各種学校等>

仙台徳洲看護専門学校(2)、仙台医療センター附属仙台看護助産学校、葵会仙台看護専門学校、相馬看護専門学校、埼玉医科大附属総合医療センター看護学校(2)、JR東京総合病院高等看護学園(2)、仙台ECO動物海洋専門学校(6)、仙台理容美容専門学校(5)、東北職業能力開発大学校(2)、宮崎県農業大学校、他

<就職>

国家公務員、宮城県警察官、亶理地区行政事務組合、仙台市水道サービス公社、昭和電気工業株式会社、他

3 学校魅力発信

(1) 本校生徒の活躍

R6年度の主な実績

①運動部

宮城県高等学校総合体育大会では水泳部が男子 100m 平泳ぎで 2 位、男子テニス部が団体ベスト 8 に入りました。

県新人大会では女子テニス部が団体 3 位、水泳部が男子 100m 平泳ぎで優勝、同東北大会でも優勝、陸上部では男子 3000m S C で 2 位、同東北大会 3 位する快挙を成し遂げました。また、弓道部は男子団体が準決勝に進出、女子個人でも準決勝に進出し国民スポーツ大会にも出場しました。その他には男子テニス部が団体ベスト 8 に進出、野球部がベスト 16 に進出するなど各部が活躍しました。

②文化部

書道部が国際高校生選抜書展で入選し、演劇部や写真部も各種発表会などで活躍しました。吹奏楽部は宮城県アンサンブルコンテストで金賞を受賞しました。その他にも奉仕活動部や家庭部、ギター部など地域と連携しながら活発な活動をしています。

(2) 主な学校行事

- ▷ 4 月・入学式、対面式、部活動紹介、PTA 総会
- ▷ 5 月・学校公開週間、前期生徒総会、県高校総体壮行式
- ▷ 6 月・県高校総体報告会、前期中間考査
- ▷ 7 月・夏季課外講習（1 年～3 年）
- ▷ 8 月・夏季課外講習（3 年）、北高祭



文化祭は例年 2 日間で行われます。左の写真は 1 日目の夜に校庭で実施された花火の様子です。

▷ 9 月・前期末考査

- ▷ 10 月・体育祭、芸術鑑賞会
- ▷ 11 月・学校公開週間、後期生徒総会、後期中間考査

▷ 12 月・修学旅行



修学旅行は例年 2 年生が 3 泊 4 日で関西方面に行きます。京都・奈良・大阪・神戸、クラスによっては伊勢神宮や天橋立まで足を伸ばすこともあります。R7 年度は沖縄への修学旅行が計画されています。

▷ 2 月・後期末考査

▷ 3 月・卒業式

(3) 学校制服紹介



2014 年より素材・シルエットを一新、開校以来守られてきた制服をブラッシュアップ。見た目やイメージを大きく変えることなく伝統のカラーを受け継ぎながら機能の向上を図った。夏季用半袖ポロシャツと女子用スラックスも導入あり。

(4) 施設紹介



航空写真の中央が名取北高の全貌です。広大な校庭は右側から野球場・サッカー場・ソフトボール場があり、右上にはテニスコート・弓道場・プール・体育館・武道場があります。左上には食堂や合宿所を備えた名北館（同窓会館）があります。

・野球場側から見た写真



・校舎の中庭の写真



4 在校生からのメッセージ

名取北高校は、勉強と部活動どちらも頑張れる、文武両道が叶えられる学校です。また将来自分のやりたいことに向かって全力で取り組むことのできる学校でもあります。

自分の進路実現に向けて課外講習や進路に詳しい先生方の手厚いサポートがあります。名取北高校には優しい先生方がたくさんいるので進路に困ったときなどは、気軽に相談することができます。

部活動は、運動部も文化部も活発に活動でき、部活動に没頭できる環境が整っています。どの部活動に入っても熱心に指導していただける先生方の下、目標に向かって仲間と共に努力することができます。

このように名取北高校には、勉強面でも部活動面でもたくさんの魅力があります。自分の好きな部活動で日々励みながら、進路実現に向かって頑張りたいという方はぜひ名取北高校へのご入学を！

人生に一度しかない高校生活。何事にも全力で楽しく過ごすことのできる名取北高校へ入学し、人生の財産となる価値のある 3 年間で過ごしてみませんか？